



1年間 あいがとうございました

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より、真美ヶ丘東小学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この学校だより「まみひがし」では、十分にお伝えしきれませんでしたが、まみったちは、様々なシーンでたくさんの輝きを見せてくれました。そして、勉強や運動、仲間との交流を通じ、互いに高め合いながら、心も体も大きく成長してくれました。子どもたちの笑顔と成長に支えられ、我々教職員一同にとりましても、充実した、かけがえのない1年間となりました。

令和7年度も、子どもたちの健やかな成長のため、まみっかが夢と希望をもって力強く羽ばたくため、教職員一同、教育活動に取り組んでまいります。1年間、本当にありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



～児童のみなさんへのお話（修了式より）～

3月19日に6年生が卒業して、少し寂しくなったこの体育館に、1年生から5年生のみなさんが集まって、今日、修了式を行うことができました。今、学級の代表の人にわたした修了証書には、この1年間、みなさんの頑張りが詰まっています。校長先生は、一人ひとりの修了証書に目を通しました。そこには、先生たちが一生懸命にみなさんの頑張りを言葉にして残してくれています。先生たちは、本当はもっともっとたくさん、みなさんの頑張りを書きたかったと思うのですが、修了証のスペースには限りがあるので、中でも特に頑張ったことを書いてくれます。家に帰ったら、じっくり読んでください。

さて、4月の始業式で、校長先生は「1年間の目標を立てて頑張ろう。」という話をしました。その中で「いろいろとたくさん、頑張るのはとっても素晴らしいことだけれども、一度にあれもこれも頑張ろうとすると、少し難しくなってしまうかも知れないので、まずは1つだけ目標を決めて頑張ろう。そして、この1年間、小さな『がんばったよ。』を少しずつ積み上げて、1歩1歩、進んでいこう。」という話をしました。1年を終える今、自分自身のことをしっかりと振り返りましょう。「小さな頑張りは、どれくらい積みあがりましたか。立てた目標を達成できた人は、さらに高い目標に向かって自分を磨いていってほしいと思います。中には、目標を立てたけれども、あまり達成できなかったなという人もいるでしょう。残念な気持ちでいるかも知れませんが、次はどうやったら達成できるかなと考えることも、あなたたちの成長へとつながります。校長先生は、みんなのことを応援していますよ。



さて、いよいよ春休みが始まります。次にみなさんが登校する時には、1つ上の学年となります。「そんなこと当たり前じゃないか。」と思う人もいるでしょうが、無事に進級できるのは、家族や先生、友だちや地域の方々など、たくさんの人の支えがあればこそだと校長先生は思っています。ですから、みなさんには、感謝の心を忘れず、日々、自分にできる精一杯のことを頑張ってお過ごししてほしいと思います。

それでは、春休み中、安全に気を付けて、楽しい思い出をたくさん作ってください。そして、4月には元気な笑顔で会いましょう。